

シラカン(西岳)

——創作におけるテーマや関心があれば教えてください。

人と人がしゃべっているのが好きで、会話を創作の軸にしています。ショッピングモールや野外など劇場以外で上演することも多く、その空間・土地の景色、美術や照明、衣装、音響、役者などの要素により生まれる「時間」、そして

Profile

シラカン

シラカンとは、「ヨーマ」なモチーフと「ひとぼと」がこもごもしている団体。2016年結成。西岳(にしがく)作演出の演劇作品の上演を始め、8人それぞれが幅広く活動している。横浜を拠点に全国で活動中。



そう そう

『蜜を削ぐ』(2019, STスポット) photo by takaramahaya

シラカン『ぞう騒々』

2020年12月3日(木) - 6日(日)

観客と過ごす「時間」をどうつくっていくのかを大切にしています。

——どのように創作をしていますか。

今回の稽古では最初の30分間、作品の作り方から立ち返るような作業をしています。お互いが歩いている姿を見てコメントし合ったり、恋愛ソングを聴いて失恋をテーマに話し合うこともあります。恋愛のこととなるとみんな真剣になるし、想像しやすいのだと思います。人の恋愛の話は面白いし、理解しがたい面白いドラマもあります。

——どんな作品になりそうですか？

今回のキーワードは「愛」と「腐る」。この2つの姿・形や変化を、言葉と身体だけに頼るのではなく、舞台上の様々な要素で表したいと思います。ノースホール規模のブラックボックスは初めてなので、遊び倒したいです。

——「愛」と「腐る」について、もう少し聞かせてください。

「愛」というと強いですが、「好き」くらいの感覚です。人の「形」が変わっても「好き」という気持ちは変わらないのか、

腐っていくものを愛することはできるのか、ということメンバーで話し合い考えています。京都は有形無形を問わず様々な文化が残っていて、「腐る」とは相反するイメージの土地なので、ここの創作は興味深いです。

——1ヶ月間の京都滞在制作についてはいかがですか？

ほぼ第1作目である『永遠とわとは』以来4年ぶりに京都での公演です。同じ場所で、改めて当時の創作への姿勢を思い出しつつ、じゅっくりと創作に向き合いたいです。

ロームシアター京都 × 京都芸術センター

U35 創造支援プログラム “KIPPU”

京都芸術センターの制作室で創作し、ロームシアター京都で上演するプログラム“KIPPU”。12月に公演を控えた2団体へ、インタビューを行いました。

スペースノットブランク『光の中のアリス』

2020年12月10日(木) - 13日(日)

スペースノットブランク(小野彩加・中澤陽)

——創作におけるテーマや関心があれば教えてください。

近年は、舞台を成立させるためにただ作るのではなく「いかなるもの・ことがいかにして舞台たるか」ということを探究しています。関心ごとはもっぱら「食」や「時間」について。制作をどれだけ健康的に、有意義に通過して舞台を訪れることができるか、日々考えています。

——今回はどんな作品になりそうですか？

『不思議の国のアリス』という特徴的な主題を基に、戯曲に描かれるナイトやピエロなどのキャラクターたちと、舞台上に現れる出演者たちの本人性が衝突することによる「キャラクターの超越」を目指しています。おとぎ話か、現実か、あるいはその境界か。地下深くにある舞台に迷い込み、光を探求する体験を皆様と共有したいと思っています。

——劇作家・松原俊太郎さんとは、創作過程でどのように協働していますか？

メールで逐一制作過程やクリエイションメンバーの状態を共有し、それに対して戯曲の内容が変化するなど、綿密なコミュニケーションを取りながら進めています。出演者同士がパフォーマンスをしながら反射し合うように、戯曲と上演の関係性が反射し合うことで、日々新しい発見があり、とても楽しいです。

——コロナ禍以降、やりたいことに変化はありましたか？

特別変化はありません。これまでもこれからも、誠心誠意、観客たちと舞台を通じて純粋なコミュニケーションを試み続けるほかありません。

Profile

スペースノットブランク

小野彩加(おの あやか)と中澤陽(なかざわ あきら)が舞台芸術を制作するコレクティブとして2012年に設立。舞台芸術の既存概念に捉われず新しい表現思考や制作手法を開発しながら舞台芸術の在り方と価値を探究している。作品は環境や人との関わり合いと自然なコミュニケーションを基に形成され、作品ごとに異なるアーティストとのコラボレーションを積極的に行なっている。

シラカン『ぞう騒々』

日時：12月3日(木)、4日(金)19:00
5日(土)14:00/19:00
6日(日)14:00

作・演出：西岳
料金：一般2,800円、高校生以下1,800円
主催・チケット取扱：シラカン
WEB: <https://shirakan.jimdofree.com/>

スペースノットブランク『光の中のアリス』

日時：12月10日(木)、11日(金)19:00
12日(土)、13日(日)13:00

作：松原俊太郎
演出：小野彩加、中澤陽
料金：前売一般3,400円、30歳以下/60歳以上2,400円(当日各600円増)18歳以下600円
主催・チケット取扱：スペースノットブランク
WEB: <https://spacenotblank.com/>

会場：ロームシアター京都 ノースホール
共催：京都芸術センター、ロームシアター京都、京都市

KIPPU2021 参加アーティスト決定!
2021年度の参加アーティストが、以下の2名に決定しました。ご期待ください!
●福井裕孝(6月公演予定)
●敷地理(12月公演予定)



『ささやかなさ』(2019) ©Dan Åke Carlsson

EVENT CALENDAR 2020.12

各種イベント申込方法（別途記載のあるもの、共催事業、制作支援事業は除く）

催し名・住所・氏名・電話番号を添えて、ウェブサイト申込フォーム、TEL、FAXで事前にお申込ください。チケット窓口でも受け付けます。

※各種年齢別・学生料金は要証明書呈示

略称

日 …… 日時 場 …… 会場 席 …… 席主 出 …… 出演、出演
演 …… 演目、曲目 料 …… 料金 定 …… 定員 主 …… 主催
共 …… 共催 問 …… 問合せ 対 …… 対象 持 …… 持物

アイコン

美術 音楽 ダンス トークイベント KACセクション
(共催事業)

※11/13時点での情報を掲載しています。開催状況はウェブサイトにてご確認ください。

11/28 sat. 29 sun.
今村達紀『Echo軌響躍 7th』
Co-program2020カテゴリ-D「KACセクション」採択企画。複数のソロパフォーマーによる音楽とペイントとダンスの実験的即興。
①11月28日(土)19:00、29日(日)14:00 ②フリースペース ③前売2,500円/当日3,000円 ④E-mail: imamuratatsunori@gmail.com TEL: 080-5661-6302(今村)

12/5 sat. 13 sun.
第5回京都学生アートオークション
【プレビュー展示】
①12月5日(土)～12日(土)10:00～20:00 ※最終日は17:00まで ②ギャラリー南 ※入場無料
【オークション】
①12月13日(日) ②講堂 ※要事前申込、詳細はウェブサイトをご覧ください ③京都学生アートオークション実行委員会、京都市 ④京都芸術センター

12/11 fri. 12 sat.
オンラインシンポジウム「AIR on air」
コロナ禍におけるアーティスト・イン・レジデンスについて議論します。
①12月11日(金)19:00～21:30、12日(土)11:00～18:30 ②オンライン上(詳細は後日ウェブサイト上で発表します) ※無料 ③ヴィラ九条山、ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川、京都芸術センター、オランダ王国大使館 ※P3もご覧ください

12/12 sat.
明倫レコード倶楽部「其ノ73」三大欲求の会「性」
解説とともにレコードの音色を楽しむプログラム。今年度もいしいしんじ氏をお招きし、ご自身の貴重なコレクションから、とっておきの曲目をお届けします。
①12月12日(土) ②講堂 ●講師: いしいしんじ(作家) ③無料 ④45名 ※定員に達したため、予約受付を終了しました

12/18 fri. 20 sun.
劇団速度『わたしが観客であるとき』
Co-program2020カテゴリ-D「KACセクション」採択企画。3月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のために映像へと切り替えた作品を経て、満を持しての舞台公演です。
①12月18日(金)19:00、19日(土)13:00/19:00※ライブ配信あり、20日(日)14:00 ②フリースペース ③一般3,000円、U25 2,000円、U18 無料、ライブ配信2,000円 ●主催・チケット取扱: 劇団速度 WEB: https://theatre-sokudo.jimdofree.com/ ④京都芸術センター

12/17 thu.
跳ぶ前に聞け!「フアンソワ・ジュニョー ワークショップ」
12月21日にロームシアター京都で上演される、フアンソワ・ジュニョー & ニノ・レネ『不確かなロマンス -もう一人のオランダ-』にあわせ、振付家・ダンサーのフアンソワ・ジュニョーが日本初のワークショップを実施します。感情と身体の結びつきや、音楽と身体の結びつきからダンス思考の多様性を伝えます。
①12月17日(木) ②講堂 ③有料 ※要事前申込、詳細はウェブサイトをご覧ください

12/26 sat. 27 sun.
臨時休館日

12/28 mon. 2021 1/4 mon.
休館日

図書室休室日: 12月25日(金)

TICKET [チケット]

第260回 市民狂言会

①12月4日(金)開場18:00 開演19:00 ②京都観世会館(左京区) ③秋大名、長光、小舞(福の神、泉清、京童)、寛智 ④茂山七五三、あきら、千三郎、千五郎 ほか ⑤前売3,000円/当日3,500円 ※全席指定 ●チケット取扱: 京都芸術センター、チケットぴあ(Pコード: 502-352) ⑥京都市



撮影: 上杉運

制作支援事業 [制作室使用者による公演・展覧会]

児玉北斗 新作ダンス作品『Pure Core』

クラブカルチャーや精神医療史を参照し、社会の病を映し出す「踊る身体」を考察する。
①12月4日(金)、5日(土)19:00、6日(日)15:00 ②THEATRE E9 KYOTO(南区) ③前売一般3,000円/学生2,000円 ※当日各500円増 ④児玉北斗 E-mail: purecore.dance@gmail.com WEB: https://purecore.hokutokodama.com

絃楽合奏団B-one『第16回演奏会』

88年ぶりの蘇演となる服部正作曲「Dessin」など日本とイタリアの名曲を演奏!
①12月6日(日)開場14:00 開演14:30 ②クレオ大阪東 ホール(大阪市城東区) ③無料 ④TEL: 070-6680-5412(池上) E-mail: bone.concert@gmail.com WEB: j.mp/b-one

トイネスト・パーク Eighth Parade『Domovoi』

家を守る精霊「ドモヴォーイ」をモチーフに、人々が宿命と葛藤する様と描きます。
①12月11日(金)18:30、12日(土)13:30/18:30、13日(日)13:30/18:30 ②人間座スタジオ(左京区) ③前売一般2,800円/学生1,500円、当日3,000円(一般・学生共) ④TEL: 080-2432-5415(イワキ) E-mail: toynest.park@gmail.com WEB: https://toynestpark.wixsite.com/website

布施安寿香『祖母の退化論』

多和田葉子による小説『雪の練習生』の第一章『祖母の退化論』を一人芝居として上演。
①12月17日(木)19:30、18日(金)19:30 ②UrBANGUILD(中京区) ③前売2,000円/当日2,500円 ※別途1ドリンク代必要 ④E-mail: memoirsofapolarbear@gmail.com(和田) WEB: http://shitatame.blogspot.com/

お寿司 演劇公演『土どどど着・陸』

私の生きた場所と違う所を舞台に、行事と生活を脚色。稲作中心のSF喜劇です。
①12月25日(金)19:00、26日(土)14:00/19:00、27日(日)14:00 ②THEATRE E9 KYOTO(南区) ③前売一般3,000円、学生1,500円 ※当日各500円増 ④TEL: 090-1222-2511(ミナミノ) E-mail: osushie.minamino@gmail.com WEB: osushie.com

OPEN CALL [募集]

Co-program 2021/2022 共同制作、共同開催、共同実験プラン募集!

京都芸術センターは、アーティストが「挑戦してみたい、やってみよう」と温めているプランと一緒に実現していきたいと考え、Co-programを実施しています。プランを募集し、採択後は企画内容から広報、運営、発表に至るまで京都芸術センターと共に協議・実験・フィードバックを重ね、進めていきます。さらに、プラン実現のために京都芸術センターが提供できる場所やネットワークなどの資源も余すことなくご提供します。プランは、共に取り組みたい理由が明確なものを積極的に採択しています。相談も随時受け付けています。多くの皆さまからの応募をお待ちしています。

以下の4つのカテゴリを設けています。

- ◎カテゴリ-A「共同制作」(公演事業)
- ◎カテゴリ-B「共同開催」(展覧会事業)
- ◎カテゴリ-C「共同実験」(リサーチ、レクチャー、ワークショップ等)
- ◎カテゴリ-D「KAC セレクション」(演劇、ダンス、音楽、伝統芸能等の舞台芸術の分野で、発表に限定して支援を行う)

●応募資格: 意欲的な芸術表現を試み、市民との交流に対する意欲を持ちながら活動を継続的に展開している芸術家・芸術団体及びそれらを支援する個人・団体。●募集期間: 2020年11月15日(日)～2021年1月4日(月) ●実施期間: 2021年4月1日(木)～2022年3月31日(木) ※募集カテゴリによって期間が異なります。●応募方法: 所定の申請書をウェブサイトからダウンロードし、事業に関する企画書・予算書・活動資料を添えて、E-mailにてco-program@kac.or.jpまでご提出ください。

日本全国のアーティスト・イン・レジデンス総合サイト

AIR_J



「AIR_J(エアージェイ)」は、全国のアーティスト・イン・レジデンス(AIR)に関する情報を、日英バイリンガルで提供するウェブサイトで、2020年度より京都市と京都芸術センターが運営し始めました。

アーティスト・イン・レジデンスとは、アーティスト、クリエイター、研究者などの創作活動を支援する短期滞在型のプログラムを指しますが、このサイトでは、現在日本で実施されているプログラムや施設の情報(2020年11月現在で62件)や募集情報などを随時提供しています。また、AIRに関する資料や記事などのコンテンツも今後益々充実していきます。

移動を伴うAIRへのハードルが高くなっている現在ですが、多くのレジデンスで国内に限って参加者を募集していたり、オンラインでのプログラムを実施していたりと、状況に応じた新たな活動を展開しています。ぜひ、今だからこそおもしろいプログラムを探してみてください。



AIR_J https://air-j.info/

PICK UP

TARO講座シリーズ特別編 能楽講座「高砂の想い出」

伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(TARO)は定期的に講座を開催しています。今年度は、能「高砂」に関する講座を動画で配信します。全10回の講座動画を隔週で1話ずつ、YouTubeのTAROチャンネルで公開しています。



「高砂の想い出」というタイトルからも想像できるように、単なるレクチャーや講義ではなくドラマ仕立てになっています。「高砂」の謡本を持って川辺に倒れていた記憶喪失の女性。そこに現れた能楽師が彼女のために「高砂」について教えるというストーリーです。能楽についての知識を得るだけでなく、この二人の絆が深まっていくドラマも楽しんでいただければ幸いです。この女性の正体は何者なのか、最終話で明らかされる真実に乞うご期待。

TAROチャンネルは、YouTubeで「伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス」と検索してください。チャンネル登録よろしくお願います。
http://traditional-arts.org/report/2020/10/25/896/



オンラインシンポジウム「AIR on air」

京都でアーティスト・イン・レジデンスプログラム(AIR)を実施する、ヴィラ九条山、ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川、京都芸術センターとオランダ王国大使館が共同で、新型コロナウイルス感染拡大後から約1年経った現在におけるアーティスト・イン・レジデンスの状況について対話するオンラインシンポジウムを開催します。

シンポジウムでは主に、コロナ禍でのヨーロッパにおける協働のあり方、どのようにこの状況から前進していけるのか、またこれからのアーティスト・イン・レジデンスや国際プロジェクトのあり方についても議論します。

①2020年12月11日(金)、12日(土) ②オンライン上(詳細は後日ウェブサイトで開催) ③無料

- 12月11日(金) 19:00～21:30 オープニングセッション
- 12月12日(土) 11:00～12:30 コロナ禍でのAIR
- 14:00～15:30 ウィズコロナ、アフターコロナ時代におけるアートの実践
- 16:00～17:30 AIRがもたらす変革
- 18:00～18:30 クロージングセッション

※プログラムは変更になる場合があります

●登壇: Bénédicte Alliot(シテ・アンテルナショナル・デ・ザール)、Heidi Vogels(TransArtists | Dutch Culture)、小田井真美(さっぽろ天神山アートスタジオ)ほか ④ヴィラ九条山、ゲーテ・インスティテュート・ヴィラ鴨川、京都芸術センター、オランダ王国大使館



2019年度開催の「NETWORKS+ARTWORKS」の様子(ヴィラ九条山) photo by Takumi Irie

ポートフォリオ作成 サポートプログラム

ポートフォリオをどのように活用していますか？
ポートフォリオを更新したのはいつですか？

ポートフォリオは、アーティストが自身の活動を、まだよく知らない人にも伝えることができる重要なアイテムの一つです。公募プログラムやレジデンスなどに応募する際、あるいは助成金や補助金に応募する際にも必要となることが多く、また、経歴や創作の動機などが明快に書かれ、視覚的に統一感のあるものは目を引きまします。

ポートフォリオは、個人の記録資料であり、活用の用途によって記載事項などその形は異なります。それをアーティスト自身が作成し更新しようとしても、日々の創作活動と、客観的な資料作成を並行して行うことに迷い、悩む方も多いのではないのでしょうか。

京都芸術センターでは、これから公募プログラムやレジデンス、助成金や補助金等に申請を考えているアーティストに向けて、活動資料であるポートフォリオの作成を支援する「ポートフォリオ作成サポートプログラム」を実施します。本プログラムは京都芸術センタースタッフとの対話を通して、アーティストが自身の活動と向き合いながらポートフォリオ作成に取り組むプログラムです。具体的には、コンセプト等文面のアドバイス、テンプレートをを用いたレイアウトの協議、そして翻訳までをサポートします。

公的な助成金や補助金制度が多く設立されている今だからこそ、このプログラムをご活用ください！



下元善光(EIGHTY ONE Inc.)

ポートフォリオ作成サポートプログラム

対象：フリーランスのアーティスト(個人・団体)
(美術、ダンス、演劇、音楽、その他)

※居住、活動拠点不問

条件：

- ・アーティストとしての活動を始めておおよそ10年未満の方
- ・今後公募プログラム、レジデンス、助成金、補助金等に申請を考えている方
- ・サポート期間に複数回のヒアリング、意見交換などのやり取りに参加できる方

サポート内容：活動コンセプトのアドバイス、
デザインレイアウトの提案、翻訳のサポート
※完成したデータはPDFでお渡しします

サポート期間：2020年12月—2021年3月末
応募締切：11月30日(月)

応募方法：京都芸術センターの
ウェブサイト、または右記の
応募フォームからご応募ください。

採択人数：3名程度

※選考結果は12月中に応募者全員にメールで通知

主催・問合せ：京都芸術センター



サポートを受けたアーティストのポートフォリオ

試行的にサポートを受けたアーティストからのコメント

このサポートプログラムを受けて、自身の活動と向き合い、改めて作家としての自信ができました。大学卒業後は制作に打ち込み、ポートフォリオの更新に手が回っていませんでした。自身が考えていることを他者に伝える難しさを改めて理解し、数ある言葉の中で何を選ぶのかで作品の見え方が大きく変わることを意識しました。1人ではなく誰かと共有するからこそ気づけたことだと思います。レイアウトを考える際にも、過去作品を見返しながら新たに得られることが多くありました。情報のまとめ方やレイアウト方法、更に翻訳のサポートも含まれているので、今後は公募プログラムや海外のレジデンスに挑戦し活動の幅を広げていきたいです。(現代美術家)

京都芸術センターは、
2020年4月に開設20周年を迎えました！
テーマは“**We Age**”
(ウィー・エイジ)

(ロゴデザイン：松本久木)

最新情報はウェブサイトでご確認ください。
公式ウェブサイト | <https://www.kac.or.jp>

kyotoartcenter | @Kyoto_artcenter | @kyotoartcenter

20周年記念グッズ紹介

京都芸術センター開設20周年を記念し、オリジナルグッズを作成しました。窓口にて販売しておりますので、お手に取ってご覧ください。

- ステッカー…200円
- ノート…400円
- 【数量限定】ピンバッジ…1,300円
- 風呂敷(赤・青)…1,200円

※すべて税込

販売：京都芸術センター窓口
(10:00-20:00)



京都芸術センター
KYOTO ART CENTER

交通案内
●市営地下鉄烏丸線「四条」駅/阪急京都線「烏丸」駅
22番出口・24番出口より徒歩5分。
●市バス「四条烏丸」下車、徒歩5分。

開館時間
●ギャラリー・図書室
情報コーナー・チケット窓口 10:00-20:00
●カフェ(改装工事のため10月1日まで閉店)
●制作室、事務室 10:00-22:00

休館日 12月28日から1月4日
※12月26、27日は臨時休館日

〒604-8156 京都市中京区室町通錦雲師下る山伏山町546-2
TEL: 075-213-1000 FAX: 075-213-1004
E-mail: info@kac.or.jp

指定管理者：公益財団法人京都市芸術文化協会